

盲導犬と歩く

Walking with A Guide Dog
50th Anniversary of
Japan Guide Dog Association

ユーザーは語る

日本盲導犬協会50周年記念誌

はじめに

盲導犬歩行訓練士は言います。「私たちは、盲導犬をつくっていますが、使ったことはありません」。盲導犬はユーザーと一緒にいるときに法律で盲導犬と認められており、ユーザーと盲導犬をユニットと呼んでいます。盲導犬の本当の姿はユーザーのお話の中にあります。

50周年記念誌の本誌はつくる側のお話、「ユニットを育てる」です。そして、この別冊は「ユーザーは語る」です。

2017年に50周年を迎え、次の一步を記す盲導犬ユーザーすべてに「盲導犬」を語っていただくようお願いしました。そして、238人の方のお話を掲載いたします。ユーザーのほぼ全員を網羅しているといっても過言ではありません。紙面の都合で編集をさせていただきましたが、そこには、それぞれの盲導犬との歩行があり、盲導犬との人生があり、238通りの盲導犬の物語があります。

決して、選ばれたユーザーだけを掲載し、盲導犬賛美だけのものではありません。「盲導犬と歩く」ことの日常の姿をユーザーが語っています。

盲導犬ユニットをつくる側の私たちも知らなかった姿がここにはあります。私たちへの最大のエールをいただき心より感謝申し上げます。

公益財団法人 日本盲導犬協会

常任理事 吉川 明

